

「さわやか軽井沢ふるさと 寄附金」 活用報告書（令和3年度版）

今回の「さわやか軽井沢ふるさと寄附金活用報告書」は、令和2年中に皆様から頂いた寄附を令和3年度に配分し、活用させていただいた報告となります。（令和2年中の寄附金額と活用額との相違は、留保される金額があることや運用益分を加えているためです。）

令和2年中 寄附金内訳（令和3年度に活用） (円)

メニュー	指定先	件数	寄附金額	活用額
守ろう豊かな自然		12件	1,350,000	1,350,000
育もう教育と文化 (教育応援分)	I S A K	439件	330,337,000	313,820,000
	軽井沢幼稚園	1件	18,000	17,000
	聖パウロ幼稚園	1件	10,000	0
	森のようちえん ぴっぴ	8件	480,000	1,084,000
	軽井沢風越幼稚園	20件	3,840,000	3,648,000
	軽井沢中部小学校	1件	5,000	0
	軽井沢高校	12件	275,000	261,000
	軽井沢風越学園	21件	17,590,000	16,500,000
	信州大学	21件	22,989,670	0
(教育応援分 以外)	旧三笠ホテル	2件	15,000	15,000
	文化施設等	1件	700	1,000
	指定なし	4件	215,630	18,973,000
	合計	531件	375,776,000	353,494,000
増やそう健幸人		3件	30,000	30,000
おまかせ		12件	1,550,000	1,550,000
合計		558件	378,706,000	356,424,000

※ 教育応援分については、95%は指定校へ、5%は町教育振興事業へ配分されます。

※ 旧三笠ホテル・文化施設等は保存・補修の事業へ配分されます。

令和4年4月作成

さわやか軽井沢ふるさと寄附金活用メニュー

寄附金活用メニュー	主な活用内容
守ろう豊かな自然	自然環境の保全・景観整備・野生動物との共生・ごみ対策・地球温暖化対策 等
育もう教育と文化	子どもの健全育成・国際交流・芸術活動の振興・文化施設保存、補修 等 「教育応援分」・・・町内学校を指定して応援 「文化施設保存・補修」・・・国の重要文化財である旧三笠ホテルや町の文化施設等の保存・補修
増やそう健幸人	健康促進・高齢者や障がい者のいきがづくり・病院機能の充実 等
おまかせ	寄附金の活用を指定しません

※ 教育応援分については、95%は指定校へ、5%は町教育振興事業へ配分されます。

※ 旧三笠ホテル・文化施設等は保存・補修の事業へ配分されます。

「さわやか軽井沢ふるさと寄附金」で、軽井沢町に対し貴重なご寄附をいただき誠にありがとうございました。

今回、皆様からいただきました貴重な志である寄附金の活用内容につきまして報告させていただきます。

今後とも軽井沢町へご支援を賜りますようお願い申し上げます。



下記は、令和3年中の寄附金内容です。
 (令和4年度に活用させていただきます。)

■返礼品該当への寄附(令和3年9月開始) (円)

メニュー	件数	寄附金額
守ろう豊かな自然	1,237 件	154,880,000
育もう教育と文化	435 件	67,250,000
増やそう健幸人	78 件	11,985,000
おまかせ	1,113 件	160,750,000
合計	2,863 件	394,865,000

■返礼品非該当への寄附 (円)

メニュー	指定先	件数	寄附金額
守ろう豊かな自然		2 件	1,010,000
育もう教育と文化 (教育応援分)	I S A K	345 件	1,022,656,000
	軽井沢幼稚園	2 件	60,000
	聖パウロ幼稚園	2 件	75,000
	森のようちえんぴっぴ	16 件	1,185,000
	軽井沢風越幼稚園	23 件	4,266,000
	おおきくなあれ保育園	1 件	30,000
	軽井沢中部小学校	1 件	20,000
	軽井沢西部小学校	2 件	110,000
	軽井沢高校	7 件	210,000
	軽井沢風越学園	43 件	18,490,000
	信州大学	17 件	8,460,000
	文化施設等	2 件	4,000
	指定なし	1 件	20,000
	合計	462 件	1,055,586,000
増やそう健幸人		0 件	0
おまかせ		6 件	1,572,000
合計		470 件	1,058,168,000

※1 教育応援分については、95%は指定校へ、5%は町教育振興事業へ配分されます。

※2 旧三笠ホテル・文化施設等は保存・補修の事業へ配分されます。

守ろう豊かな自然

鳥獣対策経費 1,350 千円 (環境課)

浅間山を象徴とする軽井沢町には、四季折々の素晴らしい豊かな自然が広がっています。町内には国立公園や国定公園、鳥獣保護区などが指定されており、多くの野生動物が生息しています。

町では人と野生動物との棲み分けと共生を目指し、様々な対策をしています。

ツキノワグマ対策では、ピッキオへの委託により、捕獲されたクマに対してベアドッグを使った学習放獣、発信器装着による行動監視、クマが人間の生活区域内に近づかないようベアドッグによる追い払いなどを実施しています。また、クマを誘引しないための助言等も行っています。

アライグマ等対策事業では、あーすわーむへの委託により、野生動物による屋根裏などへの侵入被害調査や、アライグマ・ハクビシン・アメリカミンクの捕獲駆除を実施しています。中型野生動物は、適切に管理されていない家屋に棲みつく場合がありますので、家屋の適正な管理をお願いします。

なお、アライグマ・アメリカミンクは特定外来生物に指定されており、飼育・放獣が禁止されています。見かけた際には連絡をお願いします。

ニホンジカ・イノシシ対策では、町猟友会の協力により、町内全域での捕獲駆除を継続実施しています。

ニホンザル対策は、町の有害鳥獣専門員2名とサル追払い対策員5名により365日群れの行動を監視し、町北部の国有林内への追い払いを実施しています。

また、町では、ツキノワグマの出没情報やニホンザルの位置情報をメール配信サービスとホームページ「さるくまなびねっと」で情報提供しておりますので、ご利用ください。



クマを追い払うハンドラーとベアドッグ (写真提供：ピッキオ)

育もう教育と文化

教育応援分 313,820 千円 (マイト・ワールド・カレッジ ISAK ジャパン)

UWC ISAK は世界中の高校1～3年生を対象とした、国際社会で変革を起こせるようなチェンジメーカーを育成する全寮制国際学校です。

2017年6月に初めての卒業生を送り出し、同年8月には「世界の平和と持続可能な未来を実現するために、教育の力で世界の人、国、文化をひとつにする」ことをミッションに掲げ、50年以上の歴史を持つ国際的な民間教育機関である United World College に正式に加盟しました。

2021年8月より8年目を迎え、世界72ヶ国から集まった192名(2021年8月1日時点)が、国籍だけでなく社会経済的にも様々なバックグラウンドの違いを乗り越え、たくさんの刺激を与えています。

2021年は新型コロナウイルスの影響により、日本において新規留学生の受け入れに制限が課されたことから、当校においても新入生の入国に支障が出るなど、開校以来最もチャレンジングな年となりました。しかしながら、ふるさと納税を通じたご支援のお蔭で、今年も半数以上の生徒に対してそれぞれの経済状況に応じた奨学金を給付することができ、皆様に改めて御礼申し上げます(ふるさと納税を含む全体では、約7割の生徒に奨学金を給付)。能力とやる気があり、強い目的意識をもつ全ての若い人達にチャンスを与えられる学校になるために、皆様からお預かりしたご寄付は今後も大切に奨学金として使わせていただきます。

これからも、地域社会に貢献しながら、新たなフロンティアに臨み、時代を切り拓いていく生徒たちを育成できますよう、たゆまぬ努力を重ねてまいります。これからもどうぞよろしくお願い致します。



育もう教育と文化

教育応援分 17 千円 (軽井沢幼稚園)

軽井沢幼稚園は、キリスト教の幼稚園です。

毎日の礼拝を通して心を静かに感謝する時を持ち、恵まれた自然環境を活かして五感の育みを大切にしています。

小さな園ならではのアットホームなかかわりで、一人ひとりの個性を尊重しています。

軽井沢幼稚園では、ふるさと寄附金を活用し、子どもたちの育成に必要な、バランスの取れた体力の向上を図るため、長さ 20m の綱引き用ロープを購入しました。運動会では力いっぱい綱を引く子どもたちの楽しそうな姿が見られました。

今後も引き続き、心豊かでたくましい軽井沢の子どもたちの育成を目指してまいります。



育もう教育と文化

教育応援分 1,084 千円 (森のようちえんぴっぴ)

自然豊かな軽井沢で 2007 年 4 月に開園した森のようちえんぴっぴ。雨でも雪でも自然の中でとことん遊ぶ子どもたちは、仲間と共に様々な体験を通して出会い、関わり合い、育み合う中で仲間への信頼感、自分自身への信頼感を育んでいる日々です。

ぴっぴではお昼ご飯も毎日屋外でいただきます。お家の方が作って下さるお弁当をいただく日、子どもたちと収穫した食材を利用し一緒に作っていただく日、ぴっぴのスタッフが心を込めて調理したご飯をいただく日。どの日も子どもたちにとって心と体に栄養補給をする大事な時間です。

その「食」を支えるキッチンに 2021 年度ふるさと寄附金のご支援により屋外倉庫を設置することが出来ました。子どもたちと育て収穫したお野菜やお米の貯蔵をはじめ、日々の食材や調理器具などすぐ使える場所に保管することが出来るようになり、日々活用させていただいております。今年度は子どもたちと作った大豆からお味噌も仕込み、倉庫の中で美味しく出来上がる日を待ちわびながら熟成中です。多くの皆さまからのご支援に心より感謝申し上げます。

これからも森を守りながら、森と共に子どもたちの育ちを支えて参ります。今後ともよろしくお願い致します



育もう教育と文化

教育応援分 3,648 千円 (軽井沢風越幼稚園)

軽井沢風越幼稚園は、2020年4月に開園した幼稚園です。義務教育学校である軽井沢風越学園と校舎を一つにし、3歳から15歳の子どもたちが異年齢の関わり合いを大切にしながら、じっくり、ゆったり、たっぷり、まざって、遊ぶ／学ぶ体験を積み重ねています。67名(2021年5月時点)の園児は、雨の日も風の日も、一年を通じて屋外で生活しています。

今回のふるさと寄附金のご支援は、施設・設備の充実を目的として、広大なグラウンドのメンテナンスや駐車場の安全対策、保育の記録のための機材購入などに活用させていただきました。屋外の環境を整えたことで子どもたちが日々のびのびと生活できるようになり、またその様子を「オンライン授業見学」として積極的に外部に配信することで、本園の実践を広く公開することもできました。

子どもたちが自分の未来を自分で決めていくことができるよう、その成長を見守りながら、日々の学校運営に努めて参ります。多くのご支援をいただいたこと、心より感謝申し上げます。どうぞ今後ともよろしくお願い致します。



育もう教育と文化

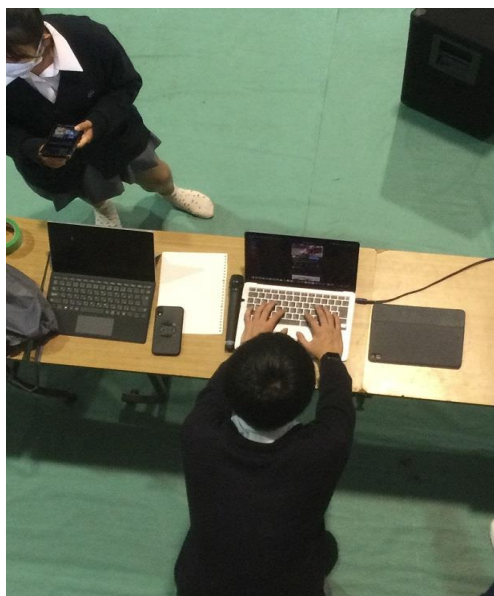
教育応援分 261 千円 (軽井沢高等学校)

軽井沢高等学校では、生徒会用パソコンを購入し、学校の魅力を生徒が自ら発信する通信環境を整えました。コロナ禍において、非公開で実施された「噴煙祭」(文化祭)の準備段階から発表までの活動を生徒自身が撮影・編集し、当日の開閉会式で放映しました。「噴煙祭」を盛り上げるとともに、生徒のIT活用能力の育成につなげることができました。

また、学習センター用のパソコンを購入することにより、「軽井沢高校便り」の作成など、高校の魅力をより一層発信することができました。これは生徒の学習環境の整備にも役立っています。

今後も引き続き、軽井沢高等学校の魅力化に取り組み、心豊かでたくましい軽井沢の生徒の育成を目指してまいります。

液晶ディスプレイを使った授業風景



育もう教育と文化

教育応援分 16,500 千円 (軽井沢風越学園)

軽井沢風越学園は、2020年4月に開校した義務教育学校です。軽井沢風越幼稚園と校舎を一つにし、3歳から15歳の子どもたちが異年齢の関わり合いを大切にしながら、じっくり、ゆったり、たっぷり、まざって、遊ぶ／学ぶ体験を積み重ねています。義務教育学校では、前期課程（1年生～6年生）149名、後期課程（7年生～9年生）45名、合計194名（2021年5月時点）の児童・生徒が在籍しています。

今回のふるさと寄附金のご支援は、多様な子どもたちの学びを継続的に支えるため、「授業料等減免制度」の原資として活用させていただき、2021年度は26名の子どもたちの授業料等を減免することができました。

子どもたちが自分の未来を自分で決めていくことができるよう、その成長を見守りながら、日々の学校運営に努めて参ります。多くのご支援をいただいたこと、心より感謝申し上げます。どうぞ今後ともよろしくお願い致します。



育もう教育と文化

18,743 千円（運用益含む） こども教育課

教育振興事業	小学校英語指導助手経費	(12,388 千円)
	中学校英語指導助手経費	(4,129 千円)
	小・中学校教育振興経費	(1,975 千円)
	私立幼稚園教育振興経費	(251 千円)

軽井沢町立小中学校において、英語指導助手配置事業として、外国人の英語指導助手を各校に1名ずつ配置しました。小学校では英語の体験的な授業を行い、中学校では英語授業の中で発音や会話練習を行うなど、生きた英語に継続的に触れることにより、英語でのコミュニケーション向上に児童生徒が意欲的に取り組むことができました。

また小・中学校の教育振興のため授業に使う教材備品の充実を図り、児童生徒が学習の内容により興味を持って楽しく学べるよう、学校ごとに必要な備品を購入しました。

幼稚園他教育振興補助事業においては、幼児教育の振興を図るため、町内の幼稚園又は認可外保育施設に対し補助金を交付しました。

今後も引き続き、心豊かでたくましい軽井沢の子どもの育成を目指してまいります。



小学校での英語の授業の様子



各校で教材を整備しました

育もう教育と文化

14 千円 こども教育課

教育振興事業 軽井沢高等学校公設塾支援経費（14 千円）

軽井沢高等学校公設塾支援事業では、令和元年7月に当町が設置した「軽井沢町学習センター」において、軽井沢高校と連携しながら、生徒に対する受験指導だけではなく、課題探求学習や進路に対する幅広い支援を行いました。

開設から3年が経ち、1学年のころから学習センターに通い学んだ生徒たちが、それぞれに納得のいく進路を見つけ、元気に巣立っていきました。

今後も引き続き、軽井沢高等学校の魅力化に取り組み、心豊かでたくましい軽井沢の生徒の育成を目指してまいります。



学習センターで学んでいる生徒たち



育もう教育と文化・おまかせ

1,766 千円 こども教育課

放課後子どもプラン事業経費 (216 千円)

保育園事務局管理経費 (1,550 千円) 保育システム機器購入

東地区、中地区、西地区児童館において放課後子ども教室を日曜日及び祝日を除き実施。学習アドバイザーによる宿題等の学習支援を行っています。宿題等が終わったら遊戯室や校庭等で他の児童と遊びます。

保育園には町内 4 保育園へ初めて保育支援システムを導入。

園児の登園降園の管理をシステム化して保育士の業務負担の軽減の他、インターネット回線を活用し専用アプリを使い園と保護者の間で双方向のやり取りが出来るうえ、新型コロナウイルス感染症に係る急な休園等の対応についても、保護者へ連絡が可能となりました。



放課後子ども教室の様子（新型コロナウイルス感染症対策で一定の距離を保ち学習を行っています）。



保護者の方が自身のスマートフォンを用い、登降園の入力を行っている様子。

育もう教育と文化

16千円（運用益分含む）

生涯学習課

文化財保護維持管理経費（1千円）

重要文化財修理・防災事業経費（15千円）

教育委員会生涯学習課文化振興係では、文化財の指定・保護や公開などの事業を行っています。

令和2年度に新たに町の文化財に指定されました「塩沢の郷倉」の屋根の葺き替えを含めた保存修理工事を実施するため、実施設計を行いました。

「重要文化財・旧三笠ホテル」の保存修理事業は、令和元年度より始まり、令和4年3月まで調査・解体作業を進めてきました。今後は、調査解体の結果を踏まえ復原工事を施工しています。

耐震補強を含めた保存修理事業は令和7年3月までの予定です。



塩沢の郷倉



重要文化財・旧三笠ホテル（工事状況）

増やそう健幸人

健康づくり事業 30千円 (保健福祉課)

保健福祉複合施設「木もれ陽の里」健康増進部門では、運動トレーニング室・水中歩行用プール・浴室を整備しています。生活習慣病や関節痛の予防・改善、近年注目されているメタボリックシンドロームの予防や改善、フレイルを予防するための運動を行うことができます。

令和3年度は、新しいトレーニングマシンを購入し、皆様の健康づくりの更なる充実を図りました。

